

トルコ為替週報

2021 年 8 月 3 日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜過去 1 週間の動き＞

(7 月 27 日～8 月 2 日)

USD/TRY: 8.3350～8.5825
TRY/JPY: 12.78～13.12 (参照値)

過去 1 週間のトルコ・リラ相場は、上昇。28 日までは膠着したが、29 日以降、明確に水準を切り上げた。リラ上昇のきっかけは、29 日の現地時間午前中に発表されたトルコ中銀インフレ報告書。4 月末に+9.4%から+12.2%に引き上げられた今年末の CPI 予想を、更に+14.1%に引き上げた。同銀カブジュオール総裁は、物価が誘導目標(+5%)に収束する目処が立つまで利下げはしない旨、繰り返し強調してきており、市場は、物価予想を上方修正しながら利下げに踏み切る可能性はさすがに考えられないと受け止めたということであろう。エルドアン大統領が、6 月 1 日に「7 月か 8 月に利下げを開始するだろう」と述べて以来、実際の物価動向とは一切切り離された議論として、8 月利下げの可能性に対する警戒感は熾り続けてきた。今般の CPI 予想上方修正は、大統領からの利下げ要請に対するトルコ中銀(カブジュオール総裁)の「回答」と読むのが妥当ということでもあろう。他にも、30 日、エルヴァン財務相が、ビジネスレンタル、食品サービス、運輸などに対する各種減税、及びリラ建預金の利息に対する税優遇措置を 9 月末まで延長すると発表したことも、景気下支え、物価抑制、リラ押し上げなどの要因と好感されたかもしれない。同日発表された 6 月の外国人観光客統計は、前月の前年比+3038.8%からは大幅に減速したものの、引き続き同+853.4%という高水準を記録した。それでも、その実数は夏場の 5～6 百万人を大幅に下回る 2 百万人超に過ぎないものの、この統計も、敢えてリラ押し上げ要因のひとつと位置づけることはできただろう。

＜過去 1 週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
7/30	7:00	貿易収支(USD)	6 月	-2.85bn	-2.90bn	-4.16bn
	8:00	外国人観光客(前年比)	6 月	+853.4%		+3038.8%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう 1 週間の見通し＞

(8 月 3 日～8 月 9 日)

USD/TRY: 8.300～8.500
TRY/JPY: 12.90～13.15

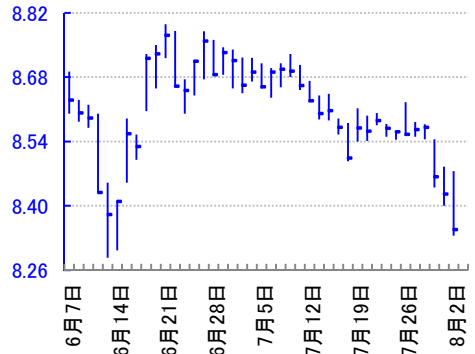
向こう 1 週間のトルコ・リラ相場は、頭打ち(膠着)から、仮に値幅が出るなら反落を警戒。まずは 3 日のトルコ 7 月 CPI や 6 日の 8 月期待インフレ率などの発表を待つことになろう。通常、物価や期待インフレ率低下はトルコ経済にとって好材料=リラ押し上げ要因のはずだが、今般のインフレ報告書に対する反応を見ると、逆に強めの物価統計が、「利下げ見送りの公算を高める」との読みでリラ押し上げ要因と受け止められる可能性も除外できない。いずれにせよ、実際に 12 日のトルコ中銀金融政策委員会の決定を聞くまでは、「何が起きても驚かない」不透明感が、リラの値動きを鈍らせるのではない。物価動向に鑑みれば、8 月利下げの可能性はほとんど考えられないはずだが、そんなこと(利下げ見送り観測)がリラ押し上げ要因と受け止められている現状が、逆に市場の不透明感(確信の欠如)を裏付けているとも言える。その不透明感の一部に、カブジュオール総裁更迭の可能性が一切ないかという点、それも確信を持っては言えないだろう。もうひとつ気掛かりなのは、トルコを含め、地中海、エーゲ海地方などで広がる山火事の影響。コロナ禍を受け、トルコにとって貴重な外貨獲得手段のひとつである観光業が、上述の通り、回復途上にあるとは言え、引き続き振るわないのは事実。例年よりもはるかに深刻と言われる今般の山火事が、同国の観光業に与えるであろう今後の打撃も大いに懸念される。中期的には、トルコ財政の先行きにも不安がないわけではない。今般の各種減税延長に先駆け、トルコ政府は例年 7 月に自動的に更新される物品税率の引き上げも見送っている。減税(増税見送り)は、景気に与える押し上げ要因としてだけでなく、物価抑制要因としても前向きに評価することはできるものの、同時に財政悪化要因でもある点は留意しておく必要があるのではない。

＜向こう 1 週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/3	7:00	CPI(前年比)	7 月		+18.60%	+17.53%
8/6	7:00	期待インフレ率(12 ヶ月)	8 月			+12.62%

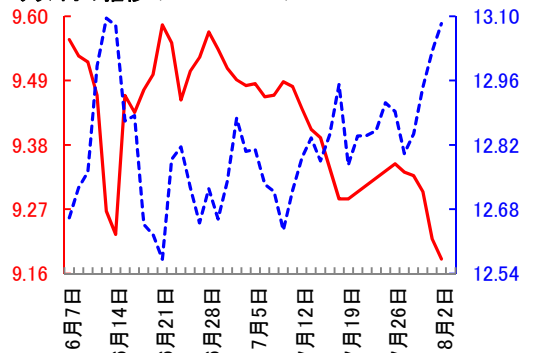
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/TRY の推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)



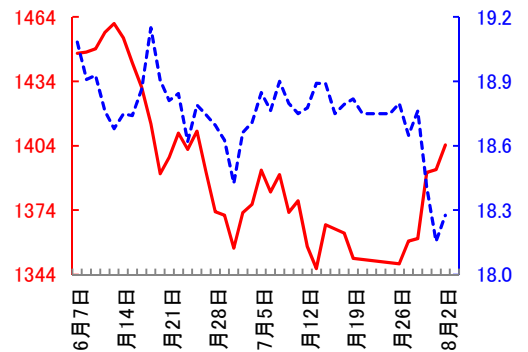
バスケット/リラの推移 (トルコ中銀公示)

リラ/円の推移 (ロンドン 17:00)



株式市場の推移 (ISE 100 種指数)

長期金利の推移 (5 年スワップ金利)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1 週間物レボ金利		19.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1	+7.0%
失業率	5 月	13.2%
消費者物価(前年比)	6 月	+17.47%
鉱工業生産(前年比)	5 月	+40.7%
小売売上高(前年比)	5 月	+27.0%
貿易収支(USD)	6 月	-2.85bn
経常収支(USD)	5 月	-3.08bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。